

# スパークス・新・国際優良アジア株ファンド (愛称: アジア厳選投資)

**特化型** マンスリーレポート

基準日 2021年9月30日

当ファンドは、一般社団法人投資信託協会「投資信託等の運用に関する規則 信用リスク集中回避のための投資制限の例外」を適用して特化型運用を行います。そのため、一般のファンドにおいては、一の者に係るエクスポージャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率として10%を上限として運用を行うところを、当ファンドにおいては、35%を上限として運用を行います。

## 【運用実績】

| 過去のパフォーマンス(%) | 直近の分配実績(円) |       |
|---------------|------------|-------|
|               | ファンド       | 参考指数  |
| 過去1ヵ月間        | 1.74       | -2.65 |
| 過去3ヵ月間        | -4.95      | -8.75 |
| 過去6ヵ月間        | 2.65       | -4.99 |
| 過去1年間         | 30.06      | 21.30 |
| 過去3年間         | 45.58      | 28.96 |
| 設定来           | 53.00      | 44.26 |

※決算期に収益分配があった場合のファンドのパフォーマンスは、分配金(税金控除前)を再投資することにより算出される収益率です。従って実際の投資家利回りとは異なります。

※当ファンドにベンチマークはありません。  
参考指数は「MSCI AC Asia ex Japan Index (円ベース)」です。  
詳細は、本資料6頁をご参照下さい。

## 【資産配分】

| 資産種類      | 比率     |
|-----------|--------|
| 株式        | 97.8%  |
| 投資信託証券    | 0.0%   |
| その他株式関連証券 | 0.0%   |
| 現金その他     | 2.2%   |
| 合計        | 100.0% |

## 【国・地域別配分】

| 国・地域   | 比率     |
|--------|--------|
| 中国     | 32.4%  |
| 台湾     | 14.3%  |
| インド    | 13.8%  |
| シンガポール | 11.8%  |
| その他    | 25.5%  |
| 現金等    | 2.2%   |
| 合計     | 100.0% |

\* 国・地域は、本社所在国等に基づいたスパークス・アセット・マネジメントによる分類です。

## 【通貨別配分】

| 通貨     | 比率    |
|--------|-------|
| 香港ドル   | 34.0% |
| 米ドル    | 17.3% |
| 台湾ドル   | 14.3% |
| インドルピー | 13.8% |
| 韓国ウォン  | 6.9%  |
| その他    | 11.5% |
| 合計     | 97.8% |

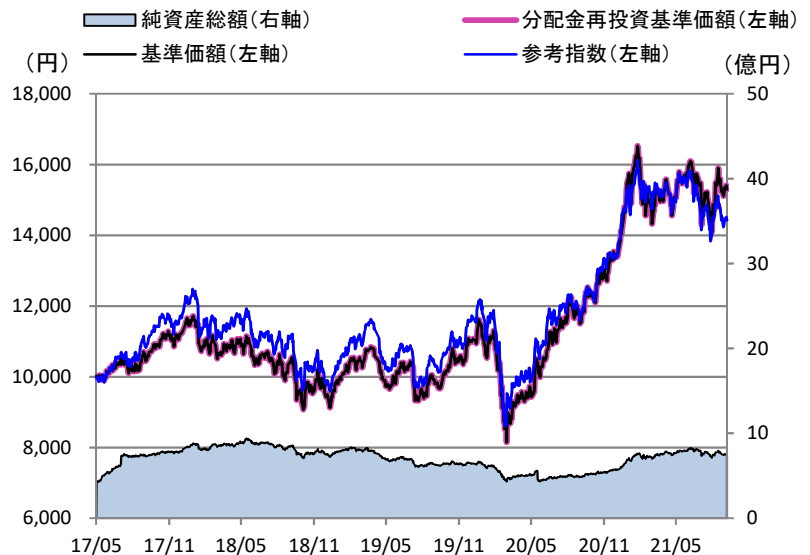
※上記記載のうち、【運用実績】、【基準価額・純資産総額の推移】以外は当ファンドが投資するマザーファンドに関する情報です。

※比率は当ファンドが投資するマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なく複製・複写をすることを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。

## 【基準価額・純資産総額の推移】

| 基準価額     | 解約価額     | 純資産総額   |
|----------|----------|---------|
| 15,300 円 | 15,255 円 | 7.40 億円 |



※当ファンドにベンチマークはありません。  
参考指数は「MSCI AC Asia ex Japan Index (円ベース)」です。  
詳細は、本資料6頁をご参照下さい。  
※基準価額は、信託報酬等控除後です。  
※分配金再投資基準価額は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。  
※過去の実績は将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## 【業種別配分】

| 業種                     | 比率    |
|------------------------|-------|
| メディア・娯楽                | 19.5% |
| 半導体・半導体製造装置            | 14.3% |
| 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス | 13.6% |
| 保険                     | 10.6% |
| 食品・飲料・タバコ              | 9.8%  |
| テクノロジー・ハードウェアおよび機器     | 6.0%  |
| 各種金融                   | 5.7%  |
| 銀行                     | 4.6%  |
| 小売                     | 3.9%  |
| 耐久消費財・アパレル             | 3.2%  |
| その他                    | 6.6%  |
| 合計                     | 97.8% |

\* 業種は世界産業分類基準(GICS)の分類に基づきます。

# スパークス・新・国際優良アジア株ファンド (愛称: アジア厳選投資)

マンスリーレポート

基準日 2021年9月30日

## 組入上位銘柄

|       |    |
|-------|----|
| 組入銘柄数 | 25 |
|-------|----|

| No | 銘柄名  | 国・地域   | 業種                     | 組入比率  |
|----|--|--------|------------------------|-------|
| 1  | Taiwan Semiconductor Manufacturing Co., Ltd. | 台湾     | 半導体・半導体製造装置            | 14.3% |
| 2  | Sea Ltd. (Singapore) Sponsored ADR Class A   | シンガポール | メディア・娯楽                | 11.8% |
| 3  | AIA Group Limited                            | 香港     | 保険                     | 8.3%  |
| 4  | Wuxi Biologics (Cayman) Inc.                 | 中国     | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス | 7.4%  |
| 5  | PT Nippon Indosari Corpindo Tbk              | インドネシア | 食品・飲料・タバコ              | 6.9%  |
| 6  | Tencent Holdings Ltd.                        | 中国     | メディア・娯楽                | 6.8%  |
| 7  | WuXi AppTec Co., Ltd. Class H                | 中国     | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス | 6.2%  |
| 8  | Samsung Electronics Co., Ltd.                | 韓国     | テクノロジー・ハードウェアおよび機器     | 6.0%  |
| 9  | Indian Energy Exchange Ltd.                  | インド    | 各種金融                   | 5.0%  |
| 10 | Alibaba Group Holding Ltd. Sponsored ADR     | 中国     | 小売                     | 3.5%  |

\* 業種は、世界産業分類基準(GICS)の分類に基づきます。

\* 国・地域は、本社所在国等に基づいたスパークス・アセット・マネジメントによる分類です。

## 組入上位銘柄の概要

| No | 銘柄名  | 国・地域   | 銘柄概要   |
|----|--|--------|--|
| 1  | Taiwan Semiconductor Manufacturing Co., Ltd. | 台湾     | 台湾積体回路製造 [TSMC/台湾セミコンダクター] (Taiwan Semiconductor Manufacturing Company Ltd.) は半導体メーカー。ウエハー製造、プロービング、組み立て、テストのほか、マスクの製造、設計、関連サービスを提供。同社の IC (集積回路) はコンピュータ、通信、消費者向け電子製品、自動車、産業機器などに使用される。 |
| 2  | Sea Ltd. (Singapore) Sponsored ADR Class A   | シンガポール | シー (Sea Limited) は情報技術サービス会社。パソコンやモバイル機器向けのデジタルコンテンツ、Eコマース (電子商取引) サービス、決済プラットフォームなどを提供し、世界各国で事業を展開。   |
| 3  | AIA Group Limited                            | 香港     | 友邦保険控股 [AIAグループ] (AIA Group Ltd.) は生命保険および金融サービス会社。個人・企業向け生命保険、傷害疾病保険、年金プランならびに健康管理サービスを提供。  |
| 4  | Wuxi Biologics (Cayman) Inc.                 | 中国     | 薬明生物技术 [ウーシー・バイオロジクス] (WuXi Biologics (Cayman) Inc.) は製薬会社。抗体医薬品、バイオ医薬品などを開発・製造。研究材料の生成、滅菌保証プログラム、臨床試験、応用分子腫瘍研究なども手掛ける。世界各国で事業を展開。   |
| 5  | PT Nippon Indosari Corpindo Tbk              | インドネシア | ニッポン・インドサリ・コーピンド (PT Nippon Indosari Corpindo Tbk) は、パンメーカー。食パン、菓子パン、パン粉、およびラザニア、およびシフォンカップケーキを提供。インドネシアで事業を展開。  |
| 6  | Tencent Holdings Ltd.                        | 中国     | 騰訊 [ Tencent Holdings Limited ] は投資持株会社。中国、米国、欧州などのユーザーにインターネットおよびモバイル付加価値サービス (VAS)、オンライン広告サービス、電子商取引サービスを提供する。   |
| 7  | WuXi AppTec Co., Ltd. Class H                | 中国     | 薬明康德 [ウーシー・アプテック] (WuXi AppTec Co., Ltd.) は、製薬会社。抗体医薬品、バイオ医薬品などを手掛ける。  |
| 8  | Samsung Electronics Co., Ltd.                | 韓国     | サムスン電子 (Samsung Electronics Co., Ltd) は電子機器・電気製品メーカー。半導体、パソコン、周辺機器、モニター、テレビなどをはじめとする民生用ならびに産業用電子機器・製品を製造、販売。エアコン、電子レンジなどの家電製品や、インターネット・アクセス・ネットワーク、携帯電話などの通信機器システムも製造する。                 |
| 9  | Indian Energy Exchange Ltd.                  | インド    | インドエネルギー取引所 (Indian Energy Exchange Limited) は、電力供給のための取引所を運営し、取引所参加者への価格提供とリスク管理などを手掛ける。  |
| 10 | Alibaba Group Holding Ltd. Sponsored ADR     | 中国     | アリババ・グループ・ホールディング (Alibaba Group Holding Limited) は、子会社を通じてインターネット・インフラ、eコマース、オンライン金融、インターネット・コンテンツなどのサービスを提供。世界各国で事業を展開。  |

\* 国・地域は、本社所在国等に基づいたスパークス・アセット・マネジメントによる分類です。

※上記記載は当ファンドが投資するマザーファンドに関する情報です。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社 (以下当社) が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書 (交付目論見書) をお渡しますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書 (交付目論見書) のご請求、お問合せは販売会社まで。



# スパークス・新・国際優良アジア株ファンド 愛称: アジア厳選投資

基準日 2021年9月30日

## ■市場環境

当月、アジア株式市場は軟調に推移しました。

日本を除くアジア太平洋市場に使用される一般的な指数である MSCI アジア太平洋(日本を除く、米ドル建て)指数は、下落して月を終えました。

中国の大手不動産開発業者の恒大集団の資金繰りをめぐる懸念は、当月に入ってさらに深刻化しました。多額の債務を抱える同社は当月、債券の利払いを期日までに行えなかったことから、同社の株価と社債価格がいずれも下落しました。この事態を受けて、他の不動産開発業者、不動産供給業者、銀行、住宅購入者に対するリスクの波及を危惧する声が高まりました。ただし、金融システムに影響が波及した場合の潜在的なリスクを察知した中国政府が状況を慎重に見守って措置を講じると考えられるため、同社はおそらく秩序ある再建に向かうと当ファンドは考えます。

世界的にサプライチェーンの混乱による物流コストやエネルギー価格の上昇が続いています。コンテナ運賃は2020年6月から少なくとも3倍に上昇しています。企業はコスト増加分を製品価格に転嫁すべきか否かで選択を迫られており、物価上昇が加速する可能性があります。コロナ禍から、需要回復の見通しがつきにくくなっており、とりわけ ASEAN 諸国ではそうした傾向が顕著です。

## ■運用状況

### 《アジア株式》

当月、当ファンドが保有する株式のリターンは、プラスとなりました。

セクター別では、ヘルスケアセクター、金融セクターなどがプラスに貢献し、一般消費財セクター、コミュニケーション・サービスセクター、情報技術セクターなどがマイナスに影響しました。

国別では、インド、中国などがプラスに貢献し、台湾、シンガポールなどがマイナスに影響しました。

個別銘柄では、Indian Energy Exchange(インド/各種金融)、WuXi AppTec(中国/医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス)、Wuxi Biologics(中国/医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス)などがプラスに貢献し、一方で、Sea Ltd(シンガポール/メディア・娯楽)、Taiwan Semiconductor Manufacturing Company(台湾/半導体・半導体製造装置)、Li Ning Company(中国/耐久消費財・アパレル)などがマイナスに影響しました。

### 《Medlive Technnology(中国/ヘルスケア機器・サービス)について》

当ファンド組入銘柄の Medlive Technnology は7月に香港株式市場に新規上場したばかりの医師向けプラットフォーム運営会社です。日本のエムスリー(株)が37%の株式を保有しています。

同社は1996年に設立され、当初は医療関係オンライン英中辞書に注力していました。その後、医師や製薬会社の多様なニーズにインターネットサービスを通じて答えるべく、様々なコンテンツ作り着手します。2013年になると、エムスリー(株)の目にとまり、同社株式の50%を対象とした資本参加を受け、今回の株式上場につながりました。経営陣や重役ポストにはエムスリー(株)の出身者が就いており、コーポレートガバナンスに関するリスクは低いと判断されます。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。



## スパークス・新・国際優良アジア株ファンド 愛称: アジア厳選投資

基準日 2021年9月30日

Medlive Technnology は、実質上「エムスリー(株)の中国におけるメディカルプラットフォーム事業」と捉えることができます。日本に15年程度遅れて立ち上がりの時期にあり、今後極めて高い成長率が期待されます。

日々、医師たちは日進月歩する医薬品・医療事情をフォローするために、様々な情報源を通じて最新情報を入手しています。そのようなニーズを「医療コンテンツ」という形式で幅広く提供しているのが同事業の特徴です。同事業に登録している医師ユーザー数は2021年6月末時点で370万人と、中国全土の医師全体の6割程度に普及しています。

しかし同事業の収益源は、これらサービスを利用する医師からもたされるものではありません。同社に売上をもたらすのは、同プラットフォーム上の医師に営業コンタクトすることを目的に参画してくる製薬メーカーおよび医療機器メーカーなどです。

従来は製薬会社などの営業担当者であるMR(Medical representative)は、医師との直接面談を通じて自社製品のプロモーションや専門知識の提供が行われていました。しかし、患者対応で多忙を極める現場医師とそのような時間を確保することは難しく、仮に面談の時間がとれたとしても、わずかに短時間で終わってしまうことが少なくありません。MRは医師の隙間時間にあわせるかたちで、ひたすら現場で待ち続けるなど、非効率な勤務形態となっていました。

しかし、インターネットを活用することにより、

- ・ MRにとって物理的な移動の手間が省ける。
- ・ きめ細かな情報提供が機動的に行える(すべてを対面ミーティングに詰め込む必要がない)。
- ・ インターネットをコミュニケーション媒体とすることで、医師も自分の都合のいい時間に情報にアクセスできる。
- ・ 昨年来の「感染症パンデミック時」でも対面による感染リスクをおさえることができる。

など多くのメリットが得られます。

このため多くの製薬会社が、伝統的な対面営業よりも、オンラインを活用した方法にシフトを進めているのです。Medlive Technnology は、このような効率的なマーケティングチャネルを提供する対価として手数料を受け取ります。

同プラットフォーム上で医師に対してマーケティングを行う製薬メーカーや医療機器メーカーなどの社数は6月末時点で65社(144品目)に上ります(\*1)。これらヘルスケア関連企業にプラットフォームを利用してもらうには、登録している医師数が多いことが何よりも重要です。逆にいうと、登録している医師会員数の増加に注力することで、おのずと企業顧客の数はついてくることになります。

\*1 エムスリー(株)は2019年12月時点で利用企業数約70社(中期成長余地100社)、利用企業1社あたり売上5億円(中期成長余地10~15億円)となっています。Medlive Technnologyの経営陣は、これまでは同社のプラットフォームを活用する顧客は外資系製薬メーカーが多かったのに対し、今後は国内企業による活用が増えてくると見込んでいます。また1社あたりの利用度合いも増加することも予想されます。

当ファンドが考える同社および親会社エムスリー(株)のビジネスモデルの仮説は、「プラットフォームを拡大していくために不可欠である利用者(医師会員)の獲得が、eコマース(電子商取引)のような他のプラットフォーム事業に比べて限られたコストで達成できるのではないか」という点です。通常、ショッピング系やゲーム・動画などのエンターテインメント系のプラットフォーム事業がユーザーを獲得するためには、加入を動機づけるために多額のインセンティブ(新たなユーザーが加入する際や友人を紹介することで金一封をあげたり、加入当初のサービス利用手数料を無料化するなど)を先行費用として投下しなくてはなりません。一方、医師向けプラットフォームは最新情報を入手するために、医

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。



## スパークス・新・国際優良アジア株ファンド 愛称: アジア厳選投資

基準日 2021年9月30日

師自らが進んで会員になってくれるケースが多いと思われま。医師間の口コミを中心に勧誘が進むので、広告宣伝費もさほどかかりません。これがローコストでプラットフォームを拡大していける理由です。

実際、同社は2020年12月期時点で売上2.14億人民元(約36億円)、営業利益1.05億人民元(約17億円)と、まだ小規模段階にありながらも既に黒字体質にあります(\*2)。これは、成長初期のインターネットビジネスとしては、非常に珍しいパターンです。また営業活動によるキャッシュフローから投資活動によるキャッシュフローを差し引いたフリーキャッシュフローもプラスを計上しています。時価総額は264億香港ドル(約3,700億円)と、エムスリー株(約5兆円)に比べてかなり小規模であり、今後の伸びしろを考えれば、長期で見ると割安であると判断しています。

\*2 なおエムスリー株では、医師会員30万人(医師全体に対する普及率92%)、2021年3月期通期で売上1,692億円(うちメディカルプラットフォーム事業771億円)、営業利益580億円(同379億円)、時価総額4.8兆円。

### ■今後の見通し

コモディティ価格やエネルギー価格の上昇、輸送コストの高騰、労働力不足によって、世界的なインフレ加速に対する懸念が高まっています。当ファンドが企業取材時に経営陣と話す内容の一つに、「企業がインフレからどのような影響を受けるのか」という点があります。企業の多くはコモディティ価格の上昇や輸送コストと人件費の増大といった難題に直面しています。しかし競争の激化や周辺地域でのコロナ禍による需要停滞を考えると、コストの上昇分を必ずしも価格に転嫁できるわけではありません。こうした傾向は、直近の経済統計で生産者物価指数(PPI)が大幅に上昇しているのに対し、消費者物価指数(CPI)の上昇幅がそれほどでもないことから明らかです。利益率を抑えざるを得なくなっている企業が多いというのが実情でしょう。

当ファンドは、ファンダメンタルに基づいたボトムアップ・リサーチによって長期的な観点から投資を行っています。インフレの影響を緩和して収益性を保護する能力は、当ファンドが投資先を評価する際に検討する点の一つです。当ファンドの組入銘柄の多くは、強力な価格決定力を生かしてコスト増加分を価格に転嫁できる能力、あるいは業務効率の改善や自動化によってコストを抑制する能力を備えていると当ファンドは考えています。そうした企業は、インフレが一時的な要因(コロナ禍の影響を受けたサプライチェーンの混乱など)であるか構造的な要因(先進テクノロジーやグリーンエネルギーの投資コストの増加など)であるかに関わりなく、業績が改善する傾向にあります。

アジア地域には、引き続き長期的な投資機会が潤沢にあります。当ファンドの目的は、配当収入とキャピタルゲインを通じて長期的にリターンを上げることにあります。

当ファンドのポートフォリオはバランスがとれており、短期的なマクロイベントやスタイル・ローテーションにも耐えることができると、私どもは考えています。アジア経済の興隆とアジア企業の地位向上という長期的な投資テーマは健在で、今後も続くと考えられます。当ファンドの使命は、『「信頼できる企業」への投資を継続しつつ、私どもが選好する次の優良成長企業になる潜在性を示しているアジア地域の新興企業を継続的に探し求めること』にあります。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もししくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。

## 愛称: アジア厳選投資

### ファンドの目的

当ファンドは、主としてスパークス・アジア厳選投資マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)を通じて、アジア(除く日本)の株式に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して積極的な運用を行います。

### ファンドの特色

#### 1. マザーファンド受益証券を通じて、アジア(日本を除く)の新・国際優良企業に投資します。

- ◆ 強固なビジネスモデルから長期的、安定的にキャッシュフローを生み出し、今後、世界的に評価される可能性の高いアジア企業を中心に投資します。
- ◆ 当ファンドの参考指数である「MSCI AC Asia ex Japan Index(円ベース)\*」の採用国及び地域の株式を中心に実質的に投資します。ただし、参考指数への追従を意図した運用は行いません。当ファンドの主要投資対象国は中国、香港、台湾、韓国、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、インド、インドネシアなどです。

※投資対象国の制度等により、上記投資対象国の株式へ投資ができない場合があります。

※日本を除くアジア地域に本社のある企業でアジア地域以外の上場株式も投資対象に含まれます。

※全ての採用国及び地域に投資するとは限りません。また、主要投資対象国は今後変更される場合があります。

\* 「MSCI AC Asia ex Japan Index(円ベース)」は、MSCI Inc.が発表している MSCI AC Asia ex Japan Index(米ドルベース)をもとに委託会社が円換算したものです。

また、MSCI AC Asia ex Japan Index に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は MSCI Inc.に帰属します。また MSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。MSCI Inc.は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。

#### 2. 厳選投資します。

ベンチマークは設けず、30銘柄程度に厳選投資を行います。(特化型)

※当ファンドは、ベンチマーク等を意識せず、弊社独自の調査活動を通じて厳選した少数の投資銘柄群に絞り込んで集中投資することとしているため、個別銘柄への投資において、当ファンドの純資産総額に対して実質的に10%を超えて投資することが想定されています。そのため、集中投資を行った投資銘柄において経営破綻や経営・財務状況の悪化などが生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

#### 3. 長期保有します。

原則として短期的な売買は行わず、長期保有することを基本とします。

実質的な組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。

スパークス・新・国際優良アジア株ファンド  
愛称: アジア厳選投資

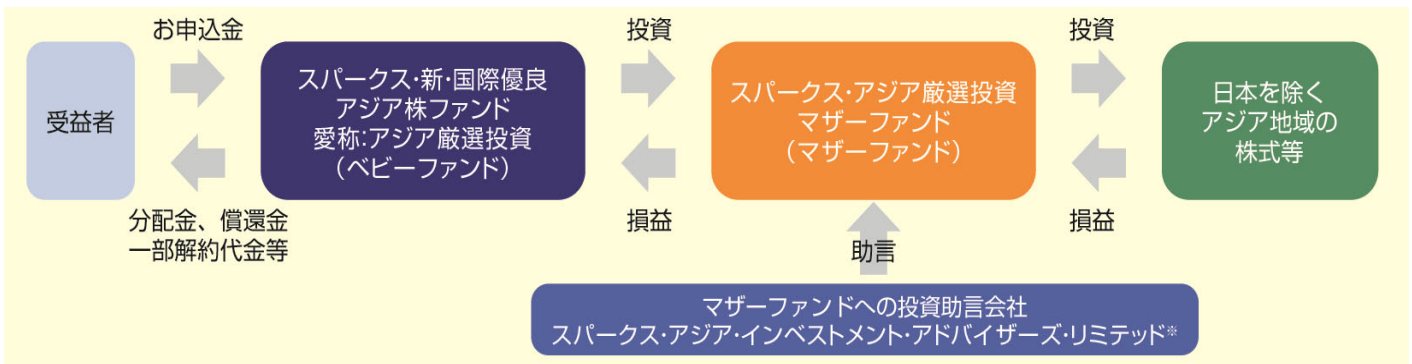
マンスリーレポート

ファンドの仕組み

ファミリーファンド方式\*により、日本を除くアジア地域の株式等へ実質的に投資を行います。

当ファンドが投資を行うマザーファンドについては、スパークス・アジア・インベストメント・アドバイザーズ・リミテッドのアジア株式運用チームの投資助言を受け、当社のファンド・マネージャーが投資判断いたします。

\* ファミリーファンド方式とは、投資者の皆さまからお預かりした資金(ベビーファンド)をマザーファンドに投資し、実質的な運用をマザーファンドにて行う仕組みです。



\* スパークス・アジア・インベストメント・アドバイザーズ・リミテッドは、香港を本拠地とする SPARX グループの一員であり、アジア地域への投資やオルタナティブ投資を強みとする投資助言会社です。

スパークス・アセット・マネジメント株式会社について

◆ 一貫した投資哲学と運用プロセスを実践する独立系運用会社です。

スパークスは、1989年の創業以来、株式市場を取り巻く環境がいかに厳しくとも「マクロはミクロの集積である」という投資哲学の下、ボトムアップ・リサーチを行っております。

親会社であるスパークス・グループ株式会社は JASDAQ 市場(銘柄コード8739)に2001年12月に運用会社として初めて上場いたしました。

■ 当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■ 当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■ 投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■ 投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■ 当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■ 当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■ 当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■ 当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■ 当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。

## 愛称: アジア厳選投資

## 投資リスク

## 基準価額の変動要因

当ファンドは、主としてマザーファンド受益証券への投資を通じて海外の株式などの値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。また、外貨建資産に投資しますので為替の変動により、基準価額は変動します。従って、投資者の皆さまの投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。

## 価格変動リスク

当ファンドは、実質的に海外の株式などを主要な投資対象としますので、当ファンドへの投資には、株式投資にかかる価格変動等の様々なりリスクが伴うこととなります。当ファンドに組入れられる株式の価格は短期的または長期的に下落していく可能性があり、これらの価格変動または流動性に予想外の変動があった場合、重大な損失が生じる場合があります。

## カントリーリスク

一般的に海外の株式などに投資する場合、投資対象国・地域の政治、経済、社会情勢の変化等により金融・証券市場が混乱して株式などの価格が大きく変動する可能性があり、基準価額が大きく下落する要因となります。また、新興国市場への投資は先進国への投資と比較して価格変動、流動性、為替変動、政治要因等のリスクが高いと考えられています。また、情報の開示などの基準が先進国とは異なることから投資判断に際して正確な情報を十分に確保できない場合があります。国有化、資産の収用、あるいは通貨の回金の制限等により、かかる国への投資はリスクを増大させることがあり、その結果、重大な損失が生じる場合があります。

## 為替変動リスク

当ファンドは原則として為替ヘッジを行いませんので、投資対象国の通貨と日本円との間の為替変動の影響を受けます。外国為替相場の変動により投資を行う投資対象国の通貨建て資産の価格が変動し、これにより基準価額が変動し、損失を生じる場合があります。

## 集中投資のリスク

当ファンドは、分散投資を行う一般的な投資信託とは異なり、銘柄を絞り込んだ運用を行うため、市場動向にかかわらず基準価額の変動は非常に大きくなる可能性があります。

## 信用リスク

組入れられる株式や債券等の有価証券やコマーシャル・ペーパー等短期金融商品は、発行体に債務不履行が発生あるいは懸念される場合には価格が下がることがあり、また、投資資金を回収できなくなることがあります。なお、株式等の値動きに連動する債券については、債券の発行者に起因するリスクのほか、対象とする企業の株価の変動の影響を受けますので、対象とする企業が倒産や大幅な業績悪化に陥った場合には、当該債券の価値が大きく下落し、基準価額が大きく下落する要因となります。当ファンドは、ベンチマーク等を意識せず、弊社独自の調査活動を通じて厳選した少数の投資銘柄群に絞り込んで集中投資することとしているため、個別銘柄への投資において、当ファンドの純資産総額に対して実質的に10%を超えて集中投資することが想定されています。そのため、集中投資を行った投資銘柄において経営破綻や経営・財務状況の悪化などが生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

## その他の留意事項

## ●システムリスク・市場リスクなどに関する事項

証券市場は、世界的な経済事情の急変またはその国における天災地変、政変、経済事情の変化、政策の変更もしくはコンピューター・ネットワーク関係の不慮の出来事などの諸事情により閉鎖されることがあります。このような場合、一時的に換金等ができないこともあります。また、これらにより、一時的にファンドの運用方針に基づく運用ができなくなるリスクなどもあります。

※基準価額の変動要因(投資リスク)は、上記に限定されるものではありません。

## その他の留意点

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりの方が小さかった場合も同様です。収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。





## スパークス・新・国際優良アジア株ファンド

マンスリーレポート

## 愛称: アジア厳選投資

## お申込メモ(お申込の際には投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)

|          |  |
|----------|--|
| ファンド名    | スパークス・新・国際優良アジア株ファンド(愛称:アジア厳選投資)   |
| 商品分類     | 追加型投信/海外/株式  |
| 信託期間     | 無期限(2017年5月26日設定)  |
| 決算日      | 毎年5月25日(休日の場合は翌営業日)  |
| 収益分配     | 原則として毎決算時にファンドの基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等は、収益分配を行わないこともあります。                       |
| お申込時間    | 各販売会社で毎営業日お申込いただけます。お申込時間は、原則として午後3時までとします。当該時間を過ぎた場合は翌営業日の受付となります。                                  |
| お申込単位    | 販売会社が定める単位   |
| お申込価額    | お申込受付日の翌営業日の基準価額   |
| お申込不可日   | 販売会社の営業日であっても、以下に該当する日は、取得のお申込の受付は行いません。<br>・香港証券取引所または台湾証券取引所のいずれかが休業日の場合<br>※詳しくは販売会社までお問い合わせください。 |
| 解約価額     | 解約請求受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額   |
| ご解約不可日   | 販売会社の営業日であっても、以下に該当する日は、解約のお申込の受付は行いません。<br>・香港証券取引所または台湾証券取引所のいずれかが休業日の場合<br>※詳しくは販売会社までお問い合わせください。 |
| 解約代金の受渡日 | 解約請求受付日から起算して、原則として7営業日目からお支払いします。   |

## お客様にご負担いただく手数料等について

下記手数料等の合計額については、お申込金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。

## 【お申込時】

■お申込手数料: お申込受付日の翌営業日の基準価額に **3.3%(税抜 3.0%)** を上限として販売会社が定める手数料率を乗じて得た額

## 【ご解約時】

■信託財産留保額: 解約請求受付日の翌営業日の基準価額に対して **0.3%** の率を乗じて得た額

■解約手数料: なし

## 【保有期間中】(信託財産から間接的にご負担いただきます)

■信託報酬: 純資産総額に対して **年率 1.925%(税抜 1.75%)**

■その他の費用等

- (1) 監査報酬、投資信託説明書(目論見書)や運用報告書等の作成費用などの諸費用(純資産総額に対して上限年率0.11%(税抜0.10%))
- (2) マザーファンドの組入る有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管費用等を、信託財産でご負担いただきます。

【お問い合わせ先】 スパークス・アセット・マネジメント株式会社

ホームページ <https://www.sparx.co.jp/> 電話番号:03-6711-9200(受付時間:営業日 9:00 ~ 17:00)

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。

スパークス・新・国際優良アジア株ファンド  
愛称: アジア厳選投資

マンスリーレポート

ファンドの関係法人について

●委託会社 スパークス・アセット・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第346号  
(加入協会) 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会 日本証券業協会  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会  
信託財産の運用指図、受益権の発行等を行います。

●受託会社 三井住友信託銀行株式会社

委託会社の指図に基づく信託財産の管理等を行います。なお、信託事務の一部につき株式会社日本カストディ銀行に委託を行います。

●販売会社 下記一覧参照

ファンドの受益権の募集・販売の取扱い、一部解約請求の受付、一部解約金・収益分配金・償還金の支払いの取扱等を行います。

| 販売会社                  |          | 登録番号             | 加入協会    |                 |                 |                    |
|-----------------------|----------|------------------|---------|-----------------|-----------------|--------------------|
|                       |          |                  | 日本証券業協会 | 一般社団法人金融先物取引業協会 | 一般社団法人日本投資顧問業協会 | 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 |
| auカブコム証券株式会社          | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第61号   | ○       | ○               | ○               |                    |
| 株式会社SBI証券             | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第44号   | ○       | ○               |                 | ○                  |
| 岡三オンライン証券株式会社         | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第52号   | ○       | ○               | ○               |                    |
| 東海東京証券株式会社            | 金融商品取引業者 | 東海財務局長(金商)第140号  | ○       | ○               |                 | ○                  |
| 西日本シティTT証券株式会社        | 金融商品取引業者 | 福岡財務支局長(金商)第75号  | ○       |                 |                 |                    |
| PayPay銀行株式会社          | 登録金融機関   | 関東財務局長(登金)第624号  | ○       | ○               |                 |                    |
| 松井証券株式会社              | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第164号  | ○       | ○               |                 |                    |
| マネックス証券株式会社           | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第165号  | ○       | ○               | ○               |                    |
| LINE証券株式会社            | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第3144号 | ○       |                 |                 |                    |
| 楽天証券株式会社              | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第195号  | ○       | ○               | ○               | ○                  |
| スパークス・アセット・マネジメント株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第346号  | ○       |                 | ○               | ○                  |

【お問い合わせ先】 スパークス・アセット・マネジメント株式会社

ホームページ <https://www.sparx.co.jp/> 電話番号:03-6711-9200(受付時間:営業日 9:00 ~ 17:00)

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。